

事務連絡
令和4年12月1日

各区長様

三木市立総合隣保館長

「隣保館だより」の回覧について(依頼)

師走の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

日頃は、隣保館事業の推進につきまして格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「隣保館だより」の全戸回覧について、お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

- 1 送付物 隣保館だより 12月号
- 2 送付部数 回覧部数分
- 3 連絡先 三木市志染町吉田823
三木市立総合隣保館
TEL 82-8388 担当：赤松・橘田

隣保館だより

12月号 No.497

つなごう手と手
築こう心の架橋を



[発行・編集]

令和4年12月1日発行

三木市立総合隣保館 〒673-0501 三木市志染町吉田 823

お問い合わせ

TEL

82-8388

FAX

82-8658

E-mail

jinken@city.miki.lg.jp

皮から革へ

～皮革と私たちの生活～

次ページは
水平社創立の
理念を共有し
あたたかい人の世を
です

先日、「よみがえった黒べえ」(末尾参照)という絵本を読みました。絵本の中で、死んだ黒べえが言います。「もしもし私をどうするのですか?」「もう一回よみがえらせるのだよ」体や手、足をバラバラにされた黒べえの皮・脂・肉・骨・爪や角は何一つ捨てられることなく(鞍やろうそく、肥料、薬、飾り)などに生まれ変わります。



<あらすじ> ある日、侍の権の進は鞍になった黒べえにまたがって祭りに行き「いやしい皮屋どもは祭りに来るな」と追い払います。

黒べえは「それはおかしい。あなたはいやしい皮屋の作った鞍に乗っているのですよ」権の進は鞍にまたがるのをやめてしまいました。学問をしている権の進にろうそくになった黒べえが話します。「このろうそくは何かからできているかご存じですか。死んだ牛の脂からできているのですよ」権の進は、いやしい身分の者が作ったろうそくをさわるのをやめて、百姓になりました。立派な野菜を作っている村人から、肥料が死んだ牛の肉で作られていることを聞いた権の進は、腰を抜かしてとうとう病気になってしまいました。

生まれ変わった黒べえたちが話します。

「薬のお前さんを飲めば治るのになあ」「でもあいつは俺が死んだ牛の骨だと知ったら飲まないだろう」…「権の進は、差別する心を治さないとうちにもならないなあ」と。

「よみがえった黒べえ」…発行者：木下川解放子ども会担当者一同・部落解放同盟東京都連合会墨田支部
原作：川元祥一 絵：渡辺つむぎ 2008年11月発行
※見たい方、購入したい方は隣保館まで連絡ください。

牛や豚から生産されるもの

畜産業 → 牛乳、ヨーグルト、バター。

食肉産業 → 肉は食卓へ。

副産物 → 「ひとにやさしい」生活素材になる産業 → **皮**…革 → 鞆や靴、太鼓、ハンドバッグ、服、運動用品などの革製品。

ゼラチン…食品、工業、医療品、化粧品に利用

コラーゲンペプチド…健康食品、各種食品、

化粧品に幅広く利用。**膠(にかわ)**…動物性



たんぱく質を主成分とする接着剤。絵画、建築、工芸品、楽器の接着に使われてきました。

※金物製造に必要な革や膠…ふいごの中の膜は革。金物製品を仕上げ

げるために磨くバフ →

には、細かい鉄粉(エミリー)を膠で接着させて今も使われています。



にかわ製造業は、日本最大の皮革産地である姫路・たつの地域において、原材料の牛真皮の入手が容易であったことから、明治の初めに大規模産地として有名に。昭和30年代には工業用途の需要で全盛期を迎え、昭和40年代にゼラチン、平成に入りコラーゲンペプチドの需要が拡大するにつれて、全国有数の生産量を有しています。現在、国内のにかわ生産量の100%、ゼラチン生産量の約20%、コラーゲンペプチド生産量の約50%のシェアを誇ります。

【姫路皮革製品推進協議会発行の冊子「姫革」より引用】

左記の子ども会では、天然素材として牛が余すところなく利用されていること、けがれ意識や差別の愚かさを知ることを通して、先人の皮から革への営み、皮革の仕事の素晴らしさを伝えているそうです。

人権の小窓

(247)

令和4年12月

水平社創立の 理念を共有し あたたかい人の世を

水平社博物館

こま い た だ ゆ き
館長 駒井 忠之



1972年奈良県御所市生まれ。1998年の水平社博物館開館から学芸員として勤務し、2015年館長に就任。国際人権博物館連盟や「世界の記憶」などを通して水平社創立の思想を世界に発信している。神戸女学院大学で人権論を担当。

はじめに

小学校の2分の1成人式での課題「今の自分をみつめよう」。「自分のいいところ」という設問に、10歳の彼の答えはこうでした。

「生きてる」。

ランドセルの中身を一緒に確認している時にプリントを見つけたお母さんは、読んでからすぐに抱き締め、「すごいね！とても素敵なお答えだね」と伝えたそうです。周りからは理解されにくい特性を持っている息子さんに、お母さんは日頃から言っているようです。「生きてるだけで“はなまる”なんだよ」「当たり前のことなんてなににもないんだからね」と。究極の自己肯定、その感情を育んだ周囲のあたたかさに、ぐっときました。

人間を尊敬すること

1922年3月3日に創立された全国水平社。創立大会で発信された全国水平社創立宣言(以降、水平社宣言)は、日本で初めての、また被差別マイノリティが発信したものとしては世界初の人権宣言と言われています。自尊感情に関わって、水平社宣言の起草者である西光万吉さんは「オノレに惚(ほ)れよ」と訴えました。西光さんは、長年の圧迫によってへし曲げられて来た感情、踏みつけられ、傷つけられてきた心をいかにして元の正しい姿に回復させるか、これが大事なことで、「自らの焔に焼けつつ自らを



打つ形相こそ水平運動の真相である」と説きました。

長年の差別によって自尊心を歪められ、卑下意識や劣等感を植えつけられてきたけれど、自身の存在を蔑むような感情は人間の尊厳や自身のアイデンティティを否定する行為だとして、水平社の創立者たちは「卑屈なる言葉と怯懦なる行為によって、祖先を辱め、人間を冒瀆してはならぬ」と創立大会で宣言しました。さらに「吾等の中より人間を尊敬する事によって自ら解放せん」と宣言して、まず我々自身もそうした負の感情と向き合ってその意識を糺(ただ)し、自身の存在やルーツを肯定しようと訴えました。「自らの焔に焼けつつ自らを打つ形相」、つまり、自分たちの差別感情を糺す意識変革こそが水平社運動の真骨頂なんだと西光さんはいうのです。まさに「部落民自身の行動によって絶対の解放を期す」ということでしょう。

水平社が夢見たよき日

西光さんが執筆し、水平社創立趣意書として1922年2月に発行された『よき日のために』。西光さんはその「よき日」を「特種部落民なる名称が賤視的観念より乖離(かいり)するであろうよき日」と表現しています。「吾々がエタである事を誇り得る時が来た」と発信し、水平社創立者たちが描いていた部落解放の姿が、はっきりと浮かんできます。

水平社の創立者たちは、人間の尊厳を否定する差別＝「人の世の冷たさ」がどれほど人びとの心を傷つけ歪ませてしまうかをよく知っていたがゆえに、「熱」の

ある世の中を切望しました。1922年2月21日の大日本同胞差別撤廃大会で撒かれた「京都へ！京都へ！！」のビラには、部落の人たちが自分たちの権利回復を求めて運動を起こすことは当然だと社会の人びとが理解を示したとき、「そこから、差別の氷を溶かす暖かさが流れるでせう」「みんなしてもつと暖い人の世をつくり度いものです」とあります。

水平社創立者たちが求めた「暖い人の世」。また「暖」という漢字に込められた想い。それらを



想像するに、ひとりひとりの心の「温かさ」や「温もり」はもちろん、そうした「熱」で暖められた空気をまとった社会、ぽかぽかとした小春日和のような、みんなが心地良く寛いで過ごすことができる世の中。そんな世界の実現を創立者たちは夢見ていたのではないのでしょうか。

水平社創立者たちが描いていたそんな素敵な夢を共有し、誰もがありのままの自分でリラックスして生きていくことができる寛容で包摂的な社会を、ともに創造していきましょう。長い道のりですが、森の火事にくちばしですくった一滴の水を落とし続ける『ハチドリのひとしく』のごとく、一步ずつ。誰もがまずは「生きてる」ことに存在価値を見いだせる、そんなあたたかい人の世を。

おわりに

全国水平社は、部落差別からの解放を求める人たちによって1922年3月3日に創立されました。その大会は京都で開催されましたが、創立の中心を担ったのは現在の奈良県御所市柏原で生まれ育った青年たちでした。1998年に水平社発祥の地である柏原に開館した水平社博物館は、人間の尊厳と平等の実

現を求めて部落差別と闘った水平社の歴史を展示しています。

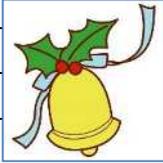
あらゆる人間の多様なアイデンティティが肯定される社会を創造し、差別を許さない社会をともに構築していこうという水平社創立の理念は、被差別部落の人たちはいうまでもなく、多くの人びとの共感を呼び、在日朝鮮人やウチナーンチュ（沖縄人）、アイヌ民族やハンセン病回復者らの自主的な人権回復運動の展開に刺激と勇気を与えました。

さらに、日本の植民地支配下にあった朝鮮では、1923年4月に朝鮮の被差別マイノリティ「白丁」（ペクチョン）を中心として衡平社（ヒョンピョンサ）が創立されました。水平社と衡平社が連帯を求めて交流した歴史を示す史料は、「水平社と衡平社 国境を越えた被差別民衆連帯の記録」として、2016年にユネスコのアジア太平洋地域「世界の記憶」に登録され、水平社博物館で展示されています。また、水平社博物館は国際人権博物館連盟（FIHRM）に加盟し、水平社創立の理念を世界に発信しています。

水平社の創立以降、人権を回復し獲得してきた道のりは、自由や平等を求め未来に引き継ごうとしてきた先人の弛まぬ努力によって私たちに引き継がれてきました。SDGsのキーワードにも通じるその理念は、未来に遺していきたい私たちの財産です。水平社博物館も、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と発信して人間の尊厳と平等を求めた水



平社の理念と、差別を許さない不屈の精神を引き継ぎ、その想いを未来につないでいきます。水平社創立100周年にリニューアルオープンした水平社博物館で、ぜひその理念に触れてみてください。

日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	木		16	金	経営相談 10:00~
2	金	経営相談 10:00~	17	土	茶道教室 9:00~
3	土	書を楽しむきらきら教室 13:00~	18	日	隣保館での文化祭作品展示は 9時~21時です。 12月4日は16時まで
4	日	隣保館文化祭：市民活動センターで 開会行事 12:30、講演会 14:00~15:30	19	月	
5	月		20	火	経営相談 10:00~
6	火	経営相談 10:00~	21	水	
7	水		22	木	茶道教室 13:00~
8	木	手芸サークル 13:30~	23	金	経営相談 10:00~
9	金	経営相談 10:00~	24	土	茶道教室 9:00~
10	土		25	日	
11	日				
12	月		27	火	経営相談 10:00~
13	火	経営相談 10:00~	28	水	フラワーアレンジメント教室 18:30~
14	水		29	木	閉館 1月3日まで
15	木	手芸サークル 13:30~	30	金	
			31	土	

【人権に関する記念日等】(12月)

- 1日 **いのちの日** 日本で心の健康に関する正しい理解の普及・啓発を行うための日。自殺予防活動の一環として2001年から設定。
- 世界エイズデー** 世界規模でのエイズ蔓延の防止、エイズ患者やHIV感染者に対する差別・偏見の解消を目的とし、1988年に世界保健機関により定められた。シンボルはレッドリボン。
- 3日 **国際障害者デー** 1982年12月3日、国連総会で「障害者に関する世界行動計画」が採択されたことを記念して、1992年の国連総会において制定。
- 4日 **総合隣保館文化祭 記念行事を開催**
開会行事 12:30~ 記念講演 14時~15時30分
【三木市立市民活動センターにて】
人権を大切にす共生の社会を築き共に人権文化を創造していく文化祭を開催します。
- 10日 **人権デー** 世界人権宣言が、1948年12月10日の国連総会で採択されたことを記念して、1950年の国連総会において制定。
- 18日 **国際移民デー** 1990年12月18日、国連総会で「全ての移住労働者及びその家族の権利の保護に関する国際条約」が採択されたことにちなみ制定。
- ★ 3~9日 **障害者週間** 国際障害者デーであり、障害者基本法の公布日でもある12月3日を起点に、障害者の日である12月9日までの1週間。1995年6月27日、総理府(現内閣府)障害者施策推進本部が制定。
- ★ 4日~10日 **人権週間** 1948年12月10日の国連総会において世界人権宣言が採択されたことを記念して1949年に法務省と全国人権擁護委員連合会が12月10日を最終日とする1週間を人権週間と制定。

募集 フラワーアレンジメント教室

- 「春のおとずれ」 講師：田中真紀さん
- ・12月28日(水)午後6時30分から
 - ・総合隣保館大会議室 ・参加費 5,000円
 - ・持ち物：はさみ
花器(少し深め、直径18cm以上)

拉致問題啓発パネルを展示

市役所入口、プロムナードにて
12月13日(火)10時~26日(月)10時迄

12月10日~16日は
「北朝鮮人権侵害問題
啓発週間」です

北朝鮮による日本人拉致問題

一日も早い帰国実現に向けて!

日本政府が拉致被害者として認定しているのは17名。内5名は2002年10月に帰国。しかし残り12名の安否は未確認のままです。さらに、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない方が878名います。政府は「すべての拉致被害者の安全確保及び即時帰国の実現に向け、冷静な分析の上あらゆるチャンスを逃すことなく全力で行動していく」としています。
(内閣官房拉致問題対策本部事務局発行のパンフレットより)